

1. 科目名 (単位数)	心理学を活かしたキャリアマネジメント (2単位)	3. 科目番号	PSMP2102
2. 授業担当教員	成本 忠正・久保 貴・八賀 洋介・麻生 奈央子		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。本科目では、1年次に開講されている「心理学を活かしたキャリアデザイン」において学んだことを踏まえて、心理学を活かした将来展望やキャリア形成について、より実践的に考える。特に資格取得を想定している場合は、資格を活かして働く自分をイメージし、実現するためには何を成すべきかについて整理する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の汎用性を活かした多様なキャリアを具体的にイメージできるようになる。 2. 多様なキャリアの中から、自分の強みを生かせるキャリアを探すことができるようになる。 3. 将来、自分が働いている姿について具体的なイメージを形成し、実現していくアクションプランを立てることができるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各授業内容に関するワークシートやレポートを作成する。 2. 演習・グループディスカッションの結果を発表する。 		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 “特になし” 【参考書】 (本学) 履修要項 “宮城まり子『心理学を学ぶ人のためのキャリアデザイン』東京図書”		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 授業やレポートを通して以下の4点について、理解を深めたかどうかを評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分が目指したい業種・職種を明らかにする。 2. 就職活動はどのような手順で進められるのかについて理解できる。 3. 社会人としてのマナーを理解し、実践できるとともに働くために必要な人間関係スキルについて理解し、実践することできる。 4. 働く人のメンタルヘルスについて理解できる ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢40%、試験及び課題レポート60%で判断する。		
12. 受講生への メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1 積極的に質問をしてください。また、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。 2 特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時の無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッション (Zoomのブレイクアウトルームを用いたグループ作業を含む) への不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。 3 授業中の私語および携帯電話の使用は厳禁とします。 4 初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず“初回”の授業に出席してください。 5 Zoomによるオンライン授業において、教員からの呼びかけに対して即時に回答してください。事情の説明なく教員の呼びかけに回答しない受講生や、ブレイクアウトルームを用いたグループ作業に事情の説明なく参加しない受講生については、欠席扱いになったり、授業態度と参加姿勢について減点したりすることがあります。 		
13. オフィスアワー	オフィスアワーについては初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション (諸注意・評価方法などの説明)) キャリア理解のおさらい	事前学習	シラバスの講義概要と学習目標を読む。
		事後学習	目標とする将来の職業について深く考える。
第2回	日本のキャリアシステム (終身雇用・年功序列・日本の経営)	事前学習	日本のキャリアシステムの特徴について調べて、要点をまとめておく。併せて、それらの特徴が現在どのように変化しているのか (変化していないのか) について考える。
		事後学習	講義内容を振り返り、事前にまとめた要点を修正する。
第3回	組織は大学生に期待することを知る	事前学習	自分が働きたいと思っている職場 (一般企業、役所、病院、施設等) が大学生に期待することについて調べる。
		事後学習	大学での学びを職場で活かすための具体策を考える。
第4回	組織は社員に何を求めているのか?	事前学習	「日本のキャリアシステム」についての理解を深めておく。
		事後学習	「組織は社員に何を求めているのか」についての理解を深めておく。
第5回	チームで働く (リーダーシップ理論)	事前学習	「優秀なリーダーに必要な条件」を考える。
		事後学習	講義内容を振り返り、事前にまとめた要点を修正する。
第6回	職場への適応	事前学習	成人の精神疾患について調べておく。

	(メンタルヘルスの主な理論・企業の取り組み)	事後学習	授業内で取り扱った精神疾患についてまとめる。
第7回	職場への適応 (ストレスマネジメント:ストレスについて理解し、その対処法を学ぶ) (ワークライフ・バランスについて)	事前学習	ストレスを感じる場面とその場面に対する自己流のストレス対処法を書き出してくる。
		事後学習	授業で学んだストレス対処法を実践する。
第8回	仕事と生活 (ワークライフ・バランスについて)	事前学習	仕事と生活の調和(ワークライフ・バランスについて)の定義を調べておく。
		事後学習	出身都道府県における「ワークライフ・バランス」の取り組みを、各自がインターネットで確認しておく。
第9回	キャリア発達理論 (長期にわたるキャリアの見通しについて)	事前学習	ライフサイクルの中でのキャリアの位置づけ、あり方を考えてくる。
		事後学習	講義・ディスカッション・発表で学んだことを共有し理解する。
第10回	キャリア・トランジション論 (転職など、キャリアの移行期について)	事前学習	ライフサイクルの中での転職やキャリアの移行の位置づけ、あり方を考えてくる。
		事後学習	講義・ディスカッション・発表で学んだことを共有し理解する。
第11回	発表の準備	事前学習	リサーチ発表の内容について各グループで話し合う
		事後学習	リサーチ発表の内容について各グループで話し合う
第12回	リサーチ研究発表① (一般企業で有用な人材になるには?)	事前学習	発表準備。
		事後学習	発表内容を振り返る。他のグループ発表の内容をまとめる。
第13回	リサーチ研究発表② (福祉現場で有用な人材になるには?)	事前学習	発表準備。
		事後学習	発表内容を振り返る。他のグループ発表の内容をまとめる。
第14回	リサーチ研究発表③ (教育現場で有用な人材になるには?)	事前学習	発表準備。
		事後学習	発表内容を振り返る。他のグループ発表の内容をまとめる。
第15回	まとめ (キャリアデザイン・キャリアマネジメントの再考)	事前学習	これまでに学習した内容を振り返り、心理学部生としてどのような大学生活を送るかについて考える。
		事後学習	これまでの授業内容を自分なりにまとめ、キャリアデザインおよびキャリアマネジメントの重要性を理解する。